

患者さまに寄り添う

臨床 検査科

健康講座

心電図で何がわかるの??

心臓は血液を全身に送るため、1日平均10万回動いています。
心電図検査は、心臓の筋肉から発生する微弱な電気信号を拾い上げ、波形を記録したものです。
心臓が規則正しく動いているか、心臓の筋肉に異常がないかが分かります。

心電図検査を受ける時ってどんな時??

下記のような症状がある場合、心電図検査を行います。

- ☑ 胸がドキドキする（ドキドキがおさまらない）
- ☑ 胸が痛いときがある
- ☑ めまいやふらつきが起こることがある など。

症状が続くようであれば、無理なく、医療機関の受診してください。



当院での一般的な心電図検査をご紹介します!

手首・足首・胸に、電極をつけて記録する心電図が一般的です。

心電図検査 (12誘導心電図)



ベッドに上向きに寝て
リラックスしてくださいね。

まず、靴下・ストッキングは脱いでください。
上半身は裸または胸の上まで服をまくり上げてください。

検査の準備です。
胸・手首・足首に電極を付けます。

測定します。
検査中は目を閉じて、体の力を抜いて動かないでください。
測定は数分で終わります。
服や靴下を履いて、検査終了です。

他にもあります!

ホルター心電図

小型の心電図計を付けて、
日常生活を送りながら24時間の心電図を記録します。
主に心臓のリズムの乱れや、心臓の動く回数、胸痛時の
波形を調べます。



トレッドミル検査

心電図と血圧を測定しながら、
ベルトコンベアの上を歩行していただきます。
心臓に負荷をかけて、安静時には分からない不整脈や胸
の違和感・胸痛時の波形を調べます。



検査科より皆様へ!

心電図で異常値がでた場合の多くは心疾患であり、**心疾患による死亡率はがんに次いで死因第2位**を占めています。心臓機能や心疾患の有無を調べる検査が主に心電図検査です。**健康診断などで異常を指摘された際も先延ばしにせず、内科や循環器内科を受診してください。**

検査科では、患者様から採取した血液や尿などの検体検査や、脳波検査、超音波検査など幅広くおこなっております。より質の高い医療の提供を目指します。

